

大会規則及び注意事項

スタート前に必ず読んで下さい。

＜競技について＞

- ①採点(ペナルティ)は、'21年 MFJ ルールを採用します。
- ②採点は各セクションのオブザーバーが採点します。スコアカードは、使用しません。
- ③コースは、コースマップを参照の上、コースマーカーに従い安全に走行して下さい。



- ④コースの逆走は、事故につながるので絶対にしないで下さい。(本部からコテージ前までの林道区間を除く)
- ⑤セクションはチャレンジクラスとオープンクラスでセクション数、最初にトライするセクションが違います。
チャレンジクラスは 10Sec × 2Lap で 1Sec から順番に 10Sec までトライして下さい。
オープンクラスは 12Sec × 2Lap で 7Sec から順番に 6Sec までトライして下さい。2Lap、6Sec 終了後ゴールに戻して下さい。
2ラップ目も同様にトライして下さい。間違えないようにお願いします。
- ⑥スタートは AM9:00 から各クラス 1分1台 でゼッケン順にスタートします。
各選手のスタート時間は受付時に公式通知にて通知されます。
指定のスタート時間に遅れた場合は最後に廻されます。持ち時間は指定のスタート時間より計算されます。
- ⑦持ち時間はスタートからゴールまで4時間30分です。
各選手に同様の持ち時間を設定しゴールは指定時間内であれば減点はされませんが、指定時間に遅れた場合は30分を限度として1分につき1点の減点が加算されます。30分以上遅れた場合失格となります。
ゴールチェックはスタート地点で行い、ゴールチェックをされた時刻をもってゴール時刻とします。
- ⑧セクションは入口に「IN」、出口に「OUT」のマーカーで表示されます。テープ内を IN から OUT まで走行して下さい。
(チャレンジクラスとオープンクラスでセクションの OUT が違うセクションがあります。)
セクション区間内は「セクションテープ」(色の指定はありません)で表示されます。
チャレンジクラスは、セクション内にある、緑のゲートマーカーの間を通過して下さい。
オープンクラスは、セクション内にある、赤のゲートマーカーの間を通過して下さい。
各クラスとも、ゲートマーカーのないセクションは、この限りではありません。
- ⑨全てのセクションに1分の持ち時間(通過時間)を設定します。持ち時間は各選手同様とします。
持ち時間以内にセクションを通過出来なかった場合は“失敗”とみなされ5点となります
- ⑩昼食は本部にて用意しています。昼食券と引き換えに取りに来て下さい。
昼食時間は特に設定しませんが、各自、速やかに昼食をとり競技に復帰してください。
- ⑪リタイアする場合は、近くのオブザーバーと本部に必ず伝えて下さい。



＜車検について＞

- ①バックミラー・突起物等で可能な物は取り外しライト・ウインカーレンズ類は飛散防止の為テープ等で留めて下さい。
- ②受付時に渡すゼッケンを車両の前部の見やすい所に貼付して下さい。

＜表彰について＞

成績による表彰を行いません。その他、特別賞等。

＜その他＞

- ①ゴミは、各自で持ち帰りましょう。
- ②コース上及びセクションでは禁煙です。
- ③燃料の給油はパドックにて行って下さい。
- ④パドック内は可燃物があるので、タバコ等、火気には十分注意して下さい。
- ⑤スキー場内にバギーコースがあり一般の観光客の方がバギー走行を楽しんでいますので十分注意してください。

タイムスケジュール

7:00~8:30 受付・車検
8:30~ ライダースミーティング、記念撮影
9:00~ スタート(ゼッケン順に1分おきに1台)
15:00 ゴール
17:00~ 表彰式

トライアルのルール??

トライアル競技は、選手がセクションを通過する時、審判員が競技を監視し採点するという独特のモーターサイクルスポーツである。審判員が片手を高く上げて、指で減点数を示しているのだから、では自分でも減点の取り方を覚えてみよう。すると、もっとトライアルの楽しさが理解できるだろう。

減点0(クリーン)

セクションをフォルト(足つき)または失敗なしで通過すること。

減点1

フォルト(足つき)1回。

減点2

フォルト(足つき)2回。

減点3

フォルト(足つき)3回以上。

減点5(失敗)

①足つきの状態、またはつかない状態であっても、バックした時。

②車両のハンドルバーが地面に接地してしまった場合。

③車両・ライダーがテープ、マーカー杭などセクション表示物の現状を変化させた場合。

④フロントタイヤまたはリアタイヤがセクションの境界(テープ等)を超えて接地した場合。

⑤ライダーが車両のサイドまたは後方に両足をつけて車両から降りてしまった場合。

⑥当クラスの前ゲートマーカーを通過しなかった場合。

⑦車両が完全なループをおこない、その軌跡を前後輪で横切った場合。

⑧足つき停止状態にある時、ハンドルバー以外の車体に触れた場合。

⑨ライダーが外部からの援助を受けた場合。

⑩前進しないでライダーがどこかに寄りかかっている、またはタイヤを除く車両の一部が地面に接地しているときに、エンジンが停止した時。(電動式バイクの場合サンデーファミリトライアル特別規則としてMFJトライアル競技規則11-2-3-16 上記規則項目⑩を適用しない)

⑪ライダーが、セクションの状況を変更した場合。

⑫申告によるエスケープについては、特に審査員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする。

フォルト(足つき)とは:

ライダーまたは車両の一部(タイヤ、フットレスト、アンダーガードを除く)が地面に接したり、よりかかった場合。

以下の場合にはフォルト(足つき)1回とします

①足つき状態でつま先とかかとが交互についている。

②片足を軸にして車両を回転させた。

③手を立木・壁等についた。

④体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した。

